

施工現場の声から生まれた
かつてない床用塗料

フロアトップアクア®

フォルティス

コンク水性二液ウレタン樹脂塗料



フロアトップアクア® プライマー
ハエレオ 誕生!

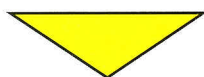
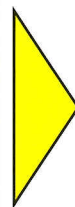


さらに幅広い基材に適用できる
最強タッグが完成!!

ATOM¹X

床の塗り替えのお困りごとを解決します！

- 床に何が塗られているか分からない
- 重量物の通行に耐えられない
- 作業中に塗りたい
- 即日開放したい
- 攪拌機を持っていない
- 退色を防ぎたい



解決

What's

フォルティス

フォルティスはラテン語で「強い」「丈夫」という意味です。

- 既存塗膜を**選ばず**塗装可能
- 塗装後**1時間** (23℃) で歩行開放可能
- 耐摩耗性は薄膜水性塗料の**3倍**
- 電動攪拌機が**なくても**使用可能
- UVカット機能**
(つや有りクリヤー・つや消しクリヤー)
- 低臭**
危険物非該当

用途

各種工場、倉庫、店舗、事務所、通路等の屋内外床

荷姿・塗り面積

【荷姿】

13.5kgセット：主剤 12kg(印刷石油缶)、硬化剤 1.5kg(3.2L角缶)
3.6kgセット：主剤 3.2kg(4kg丸缶)、硬化剤 0.4kg(1L角缶)

【塗り面積】

13.5kgセット 50㎡(2回塗り) 3.6kgセット 14㎡(2回塗り)

※混合時に入れる水を加えた塗り面積です。下地の状況により塗り面積は変化します。



標準色

14色 (調色も承ります)



※この色見本は印刷物のため実際の色調とは多少異なります。 ※つや消しは、#91つや消しクリヤーのみです。



特長

● 付着性

何が塗られているかわからない場合でも、広範囲の樹脂系床用塗料の既存塗膜に**プライマーなし**で上塗りできます。また下地処理のいきとどいた普通コンクリートに直接塗装できます。

注) 裏面の塗装仕様例をご確認ください。

詳細はこちら

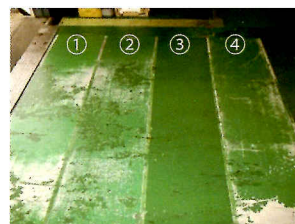


https://www.atomix.co.jp/floor/fortis_2/

● 耐久性

従来の薄膜水性床用塗料と比較して架橋密度が高く3倍の耐摩耗性があります。**ライフサイクルコストを低減**できます。

フォークリフトが走行する出入口で**3年間耐久性試験**(当社比較試験による)
写真右:①水性アクリル ②水性ウレタン ③フォルティス ④水性エポキシ



● 安全性

水性塗料のため**安心**してご使用いただけます。また**低臭**なので操業中でも塗装できます。

	消防法	保護具	保管	特定化学物質障害予防規則
フォルティス	危険物非該当なので 指定数量制限なし ※硬化剤は指定可燃物	 防塵マスク着用	一般倉庫  設備:一般的な蛍光灯	非該当
一般的な溶剤型塗料	危険物なので 指定数量 制限対象	 防毒マスク着用	危険物倉庫  設備:防爆型蛍光灯	特定化学物質作業主任者の 立ち合い必要

● 乾燥性

独自の配合技術により**1時間で歩行開放**、8時間で重量物開放できます。
(※気温23℃・湿度50%の場合)

動画配信中



https://www.atomix.co.jp/floor/fortis_1/
詳細はこちら

● 材料混合

電動攪拌機がなくても二液型塗料が簡単に混合できます。

※硬化剤に同量の水を入れて充分攪拌した後、主剤に混ぜて充分混合攪拌します。
※材料混合の際は、必ず右記の動画をご覧ください。(QRコードは製品ラベルからもご覧いただけます)
※小分けする場合は、主剤の缶に上下を裏返したりしながら20回以上充分に混合攪拌したものをご使用ください。



動画配信中



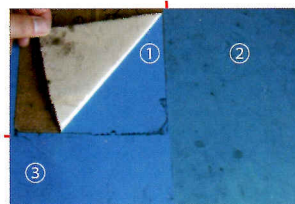
https://www.atomix.co.jp/floor/fortis_01/
詳細はこちら

● 耐候性

つや有りクリヤー・つや消しクリヤーは、**UVカット機能**を有しているため素地の風合いを活かす仕上げの他、既存塗膜の退色を抑制します。

太陽光が入る倉庫入口付近で**1年6ヶ月間耐候性試験**

写真右:①エポキシ塗料(初期の色との比較のためテープ養生)②エポキシ塗料
③エポキシ塗料の上にフォルティス #90 つや有りクリヤー



施工仕様例 (※塗布量は水を混合した分量です)

1) 塗り替えコーティング工法

工程	製品名	混合比 (重量比)	塗布量 (kg/m ²)	塗装間隔 (時間/23℃)
1 下地処理	施工仕様書をご参照ください。			
2 上塗り①	フロアトップアクア フォルティス	主剤：硬化剤：水 = 12：1.5：1.5 ※	0.15	1 以上
3 上塗り②	フロアトップアクア フォルティス	主剤：硬化剤：水 = 12：1.5：1.5 ※	0.15	-

注) ワックスが残存しているMMA樹脂やビニルエステル樹脂、FRP樹脂、ふっ素樹脂、シリコン樹脂には付着しません。また、柔らかい塗膜の上に塗装すると割れることがあります。
※3.6kg缶の場合は、主剤：硬化剤：水=3.2:0.4:0.4です。

2) コーティング工法 (コンクリート面 / カラー限定)

工程	製品名	混合比 (重量比)	塗布量 (kg/m ²)	塗装間隔 (時間/23℃)
1 下地処理	施工仕様書をご参照ください。			
2 捨て塗り	フロアトップアクア フォルティス	主剤：硬化剤：水 = 12：1.5：4.5 ※	0.09~0.18	0.5 以上
3 上塗り①	フロアトップアクア フォルティス	主剤：硬化剤：水 = 12：1.5：1.5 ※	0.15	1 以上
4 上塗り②	フロアトップアクア フォルティス	主剤：硬化剤：水 = 12：1.5：1.5 ※	0.15	-

注) 捨て塗りの替わりに水性速乾プライマーをご使用いただくことも可能です。水分・油等がある場合は当社にご相談ください。

注) 緻密なコンクリートに塗装する際は、フロアトップアクア プライマー ハエレオをご使用ください。

※3.6kg缶の場合は、主剤：硬化剤：水(捨て塗り)=3.2:0.4:0.4(1.2)です。

3) コーティング工法 (コンクリート面 / クリアーおよびカラー)

工程	製品名	混合比 (重量比)	塗布量 (kg/m ²)	塗装間隔 (時間/23℃)
1 下地処理	施工仕様書をご参照ください。			
2 下塗り	フロアトップアクア プライマー ハエレオ	主剤：硬化剤 = 5：0.5 ※1	0.10	2 以上
3 上塗り①	フロアトップアクア フォルティス	主剤：硬化剤：水 = 12：1.5：1.5 ※2	0.15	1 以上
4 上塗り②	フロアトップアクア フォルティス	主剤：硬化剤：水 = 12：1.5：1.5 ※2	0.15	-

注) コンクリートの表面状態により、塗料の吸込み具合が異なるため不均一な色目(吸込みム)に仕上がることがあります。
注) フォルティス クリアーをコンクリート面に直接塗装すると、下地の影響によって変色する場合があります。必ず下塗りをご使用ください。

※1 新設および外部コンクリート、風化・劣化したコンクリート、スレート、ケイカル等の場合は、浸透添加剤を追加混合してください。なお、水性速乾プライマーをご使用いただくことも可能です。

※2 3.6kg缶の場合は、主剤：硬化剤：水=3.2:0.4:0.4です。

4) コーティング防滑工法 (コンクリート面)

工程	製品名	混合比 (重量比)	塗布量 (kg/m ²)	塗装間隔 (時間/23℃)
1 下地処理	施工仕様書をご参照ください。			
2 下塗り①	フロアトップアクア プライマー ハエレオ	主剤：硬化剤 = 5：0.5 ※1	0.10	2~24
3 下塗り②	フロアトップアクア フォルティス	主剤：硬化剤：水 = 12：1.5：1.5 ※2	0.15	直後
4 珪砂散布	6号珪砂または7号珪砂	-	0.10	1 以上
5 上塗り①	フロアトップアクア フォルティス	主剤：硬化剤：水 = 12：1.5：1.5 ※2	0.15	1 以上
6 上塗り②	フロアトップアクア フォルティス	主剤：硬化剤：水 = 12：1.5：1.5 ※2	0.15	-

※1 新設および外部コンクリート、風化・劣化したコンクリート、スレート、ケイカル等の場合は、浸透添加剤を追加混合してください。なお、水性速乾プライマーをご使用いただくことも可能です。

※2 3.6kg缶の場合は、主剤：硬化剤：水=3.2:0.4:0.4です。

5) コーティング防滑工法 (アスファルト面)

工程	製品名	混合比 (重量比)	塗布量 (kg/m ²)	塗装間隔 (時間/23℃)
1 下地処理	施工仕様書をご参照ください。			
2 上塗り①	フロアトップアクア フォルティス	主剤：硬化剤：水 = 12：1.5：1.5 ※	0.30	1~48
	8号珪砂	7.5	0.15	
3 上塗り②	フロアトップアクア フォルティス	主剤：硬化剤：水 = 12：1.5：1.5 ※	0.20	1~48
	8号珪砂	7.5	0.10	
4 上塗り③	フロアトップアクア フォルティス	主剤：硬化剤：水 = 12：1.5：1.5 ※	0.20	-

注) コンクリートの屋外駐車場などは、コンクリートの表面強度が弱かったり、下地からの湿気やコンクリート内部へ雨水の侵入により塗膜の浮き・剥がれが発生する場合があります。駐車場の塗装の場合、当社にお問い合わせください。

注) 珪砂の混合を行うので電動攪拌機をご用意ください。

注) 粗面アスファルトの場合は、下塗りにフロアトップアクアプライマー ハエレオをご使用ください。

※3.6kg缶の場合は、主剤：硬化剤：水=3.2:0.4:0.4です。



https://www.atomix.co.jp/floor/shitaj_1/
コンクリートの見分方はこちら

● フォルティスの可使用時間：1 時間

上塗り可能時間：1 時間 (※気温23℃・湿度50%の場合)

注意事項

1. 塗装(施工)前の注意

- 5℃以下の場合には塗装を避けてください。
- 降雨・降雪・高湿(85%以上)・高温時およびその恐れがある場合には、塗装を避けてください。
- 下地処理・下地調整は、塗料の付着力を決定する重要な工程です。施工仕様書等を良くお読みの上、十分に注意して行なってください。

2. 塗装(施工)中の注意

- 下地が濡れている場合は、十分に乾燥させてから次の工程に着手してください。
- 塗装中・乾燥中は、換気を良くし、火気の取り扱いには厳禁にしてください。
- 二液型塗料の計量・混合攪拌は、はかりおよび電動攪拌機を用いて行い、可使用時間(ポットライフ)にも充分注意して塗装してください。
- フォルティスには、必ず水混合が必要になります。
- 水を混合した硬化剤は反応が進むため保管はできません。すぐにご使用ください。この状態で密栓すると炭酸ガスが容器内に溜まり、膨張し内容物の噴出などの事故につながりますのでご注意ください。小分けする場合は、必ず必要量のみを計ってから水を混合してご使用ください。
- 塗料を小分けする場合は、小分け前に充分攪拌し均一にした後、主剤・硬化剤・水の混合比(重量比)を守るように、はかりで正確に計り取り、その後、混合攪拌を行ってください。材料混合の際には攪拌機を使用する場合は、上下に動かして、まんべんなく材料が混ざるように混合してください。
- 材料混合の際、床面に主剤・硬化剤の材料がこぼれた場合、必ず拭き取ってください。その上に混合した材料を塗り重ねますと未硬化(硬化不良)を起こしますのでご注意ください。
- 可使用時間を越えた材料の使用は物性を著しく低下させますので、使用しないでください。
- 材料混合の際、基本は攪拌機にて混合してください。
- 塗装中に休憩する場合は可使用時間を考慮してください。休憩の際、塗装具は混合した材料に漬けておいてください。

3. 塗装(施工)後の注意

- 湿度が高いとき、気温が低いときは乾燥が遅れる場合があります。塗装工程では、常に乾燥状態を確認してから次の工程に入ってください。
- 養生時間：歩行開放1時間 重量物開放8時間(気温23℃・湿度50%の場合)
- 開放時間は風通しや水分の揮発状況により遅くなる場合があります。特に、低温・高湿度・通気が悪い状況では遅くなります。高湿度や通気が悪い環境の場合、送風機利用による風の循環や換気の徹底をお願いします。

- 塗装道具などを洗浄した水などを、河川や湖沼へ流したりしないようにご注意ください。
- 小分けして残った材料は、蓋を完全にし、直射日光や-5℃以下の場所を避けて換気の良い所で保管してください。
- 空の硬化剤容器は穴を開けておくか、蓋をせずに廃棄するようにしてください。

4. 塗装面別の注意

- 新設コンクリートは最低4週間以上の養生が必要です。素地コンクリートに水分が多い場合は塗装を避けてください。塗装前に素地にポリシート(1m)を張り付け、翌日、素地面が黒くならったり、ポリシート内面に水滴の付着がないことを確認した後塗装してください。
(カット水分計HI-520で測定した場合の水分量がDモードで7.0以下、チャンネル4で5%以下を目安にする)
- 普通コンクリートにおいてレイタンス、エフロレッセンス等をポリリッシャーサンダー等で完全に除去してください。
- 既存塗膜面の塗り替えは、既存塗膜の状態により除去が必要な場合があります。
- 風化したコンクリート、吸込みの激しいコンクリート、打設時の雨打たれや凍結により強度のないコンクリートの場合にはご相談ください。
- 強化コンクリートの場合、フロアトップアクア プライマー ハエレオをご使用ください。
- 床用塗料の上に貼り付けた布テープ・ラインテープ等を取り除く際に、塗膜が剥がれることがあります。
- タイヤやゴムが長時間接触していると、タイヤマークが付いたり、塗膜が剥がれることがあります。

5. 全般的注意

- 製品ご使用の際には、SDS(安全データシート)・施工仕様書をよくお読みください。
- 製品改良等のため、製品の身中・仕様は、将来予告なしに変更する場合があります。
- 当社仕様書に表示してあります塗り面積・工法はあくまでも設計上の標準的な数値です。
- 塗装の際の諸条件によって使用量が増減する場合があります。
- 本製品は、定められた用途以外には使用しないでください。
- ご不明の点がございましたら、必ずご使用前に当社にお問い合わせください。

アトミクス株式会社 塗料事業部

〒174-8574 東京都板橋区舟渡3-9-6 TEL.03(3969)3125(直通) FAX.03(3968)7300

■本 社	〒174-8574 東京都板橋区舟渡3-9-6	TEL.03-3969-3111(代表)	FAX.03-3968-7300
■加須受注センター	〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-12-1(加須工業団地内)	TEL.0480-65-1154	FAX.0480-65-6909
■大 阪 支 店	〒574-0053 大阪府大東市新田旭町2-22	TEL.072-872-3111	FAX.072-872-1222
■仙 台 営 業 所	〒982-0011 仙台市太白区長町6-8-7(ハイコートアイ1F)	TEL.022-249-7371	FAX.022-249-7372
■新 潟 営 業 所	〒950-0982 新潟市中央区堀之内南2-19-14(和合ビル)	TEL.025-244-8012	FAX.025-244-8012
■横 浜 営 業 所	〒224-0033 横浜市都筑区茅ヶ崎東3-17-43	TEL.045-943-8911	FAX.045-943-8912
■名古屋営業所	〒462-0043 名古屋市北区八代町1-9(北村ビル2F)	TEL.052-914-3900	FAX.052-916-0892
■広島営業所	〒739-1734 広島市安佐北区田中1-8-17(小夫家ビル)	TEL.082-845-2202	FAX.082-845-2203
■福岡営業所	〒812-0863 福岡市博多区金の隈1-33-31	TEL.092-503-5200	FAX.092-503-5308
■加 須 工 場	〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-12-1(加須工業団地内)	TEL.0480-65-1159	FAX.0480-65-7146